

## 今更のフィルター除去 デジ一眼の IR カットフィルターを除去すること

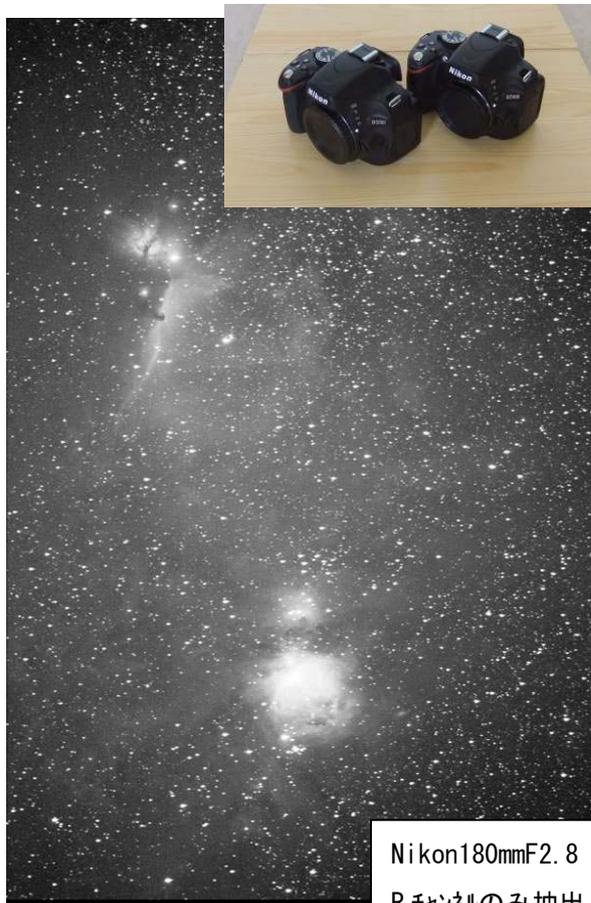
右上の写真の右側がノーマルの D5100 で、日ごろからタイムラプスの過重労働の憂き目に逢っています。左側が、最近に中古で買って来た D5100 で、購入店からそのままアイベルに直行して IR カットフィルターを除去しました。ちょっと見ではどっちがどっちだかわからなくなるので、ラベルを貼って区別ができるようにしています。(持ち出すときに間違えたらたいへんです)

そして、先日の 10 月 12 日に獅子が岳に出かけたときに改造版 D5100 の方のファーストライトを行って、その調子を探ってみました。

とりあえずは、安直なところでカリフォルニア星雲で様子を見ると、それはまあ写る写る(^\_^) ノーマルとは段違いに H II 領域が浮き上がってきます。このあたりの星雲は、ほんとうは結構明るく輝いているのだけれど、フィルターでブロックされて感度が落ちていたのが良くわかります。

また、オリオン座の中心部を撮影してみると、M42 や馬頭星雲のあたりは鮮明に写りますが、周辺部のもともと H II 領域の輝度の低いところは、コントラストがあがりにくく、やはり鮮明に写すには相当枚数をコンポジットする必要があるのかなあという感じでした。一方で魔女の横顔の辺りの分子星雲は、改造 D5100 でもノーマルでも写り方は大差なく、鮮明に浮かび上がらせるためには同様のコンポジットが必要そうなこともわかりました。

しばらくはこれでしっかりと遊べそうです。



Nikon180mmF2.8  
Rチャンネルのみ抽出

## アイソン彗星に期待 松阪限定局地予報

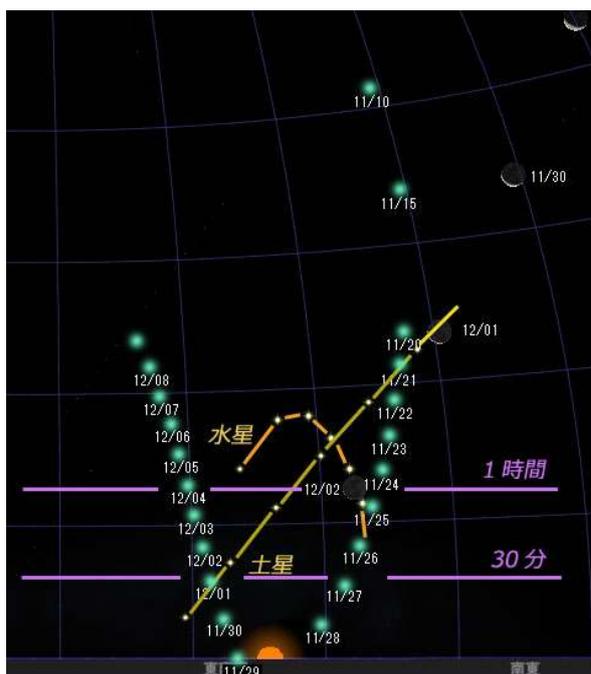
アイソン彗星の近日点通過まで、あと1ヶ月となってきました。どうにも光度が上がらないのは寂しい限りですが、今後に期待して日出時の見え方がどのようになるのか、ステラナビで確認しました。

右の図は、日出時刻における彗星の位置を重ねてプロットしたものです。日出 30 分前と 1 時間前の地平線もあわせて引いてみました。

日出1時間前を目安とすると、11月24日までと12月4日以降あたりが観測の目安でしょうか。本当は日出直前の空に輝く姿を見ることができるとうれしいのですが、どうなるでしょうか。

ちなみに、日出時刻は次のとおりです。

11月20日	6:31	12月5日	6:44
11月25日	6:35	12月10日	6:48
11月30日	6:40		



## Books & CDs 誠文堂新光社のもろもろの本

先日アマゾンで検索をしていたら、「バーゲンブック」と称して誠文堂新光社の天文書籍が定価の4割で売られているのを発見したので、松阪市天文台の常備図書としてまとめて買い付けをしました。

どうやら、あまり売れ行きが芳しくない書籍の在庫一掃セールをしようとしているようで、まあ、確かに一般ウケのしそうな本が並んでいます。

しかし、一連の書籍の中には「天体観測の教科書」シリーズなど、天文雑誌でも専門書籍でも紹介されることのない具体的な観測技術などが詳しく解説されていて、とても興味深い書籍でした。

Amazon 侮り難しであります。



## メカが大好き パソコン全天恒星図 /天文ガイド編集部

前項で紹介したバーゲンブックの中で、この書籍も売られており、ちょうど探していたところだったので、つい買ってしまいました。(発売直後(2005年)に購入した記憶があるのでどこかへ失くしてしまったので・・・)

この本は、簡単に言うと星図の画像ファイルとビューアソフトを組み合わせ、紙に印刷したのと同じような星図をパソコン上で閲覧できるようにしたもので、発売当時には、「紙の星図と、パソコン星図の長所を兼ね備えたソフト」という触れ込みでした。

紙の星図は、文字等が星の邪魔にならないように適切に配置されているなど、星図ソフトにはない抜群の見易さが特徴です。しかし、パソコン上でしか見えないとなると機動性に難があって、結局は、「紙の星図と、パソコン星図の短所を兼ね備えた残念なソフト」となっていました。(まあ、企画自体も安直といえなくも無い)

しかし、あれから月日が経ち、スマホやタブレットなどの端末が便利に使えるようになったので、状況はすっかり変わっています。

そんなことで、収録されている星図ファイルを(ファイル名をそれぞれの星図中の代表星座名に変更して)スマホにコピーし、画像ビューア(PeakView)で閲覧できるように

したところ、タッチ操作により拡大縮小も自由自在でまさに発売時に想定された「2つの長所」を兼ね備える便利ツールとして甦りました。

ちなみに、星図はJPEGファイルなので、パソコンの画像編集ソフトで書き込みを行って、自分独自の星図に進化させることもできます。

これで観望に紙の星図を持参する必要がなくなりました。



## 編集雑記

今月も、これといった天文イベントが無く、狭間ののんびり月間であります。アイソン彗星はどの程度の按配になるのかわからない(というよりも下振れしているのがわかっているのに未練がましく期待しているからなのか)ので計画がたてにくい状況です。

そんな中、Web で検索してみると、アイソン彗星観測ツアーというのがいくつか見られるようになってきました。八ヶ岳山麓とか離島とか、果ては機上から彗星を観察するなど、それぞれ結構な人気ようです。

もとより、そのようなツアーを利用するつもりもありませんが、近日点通過前後のベランダ観測はともかくとして、視界が開けて暗い場所を少し探さないといけないかなと思っています。

Kz\_Wada 和田一人